



国鉄千葉動力車労働組合

国鉄千葉動力車労働組合

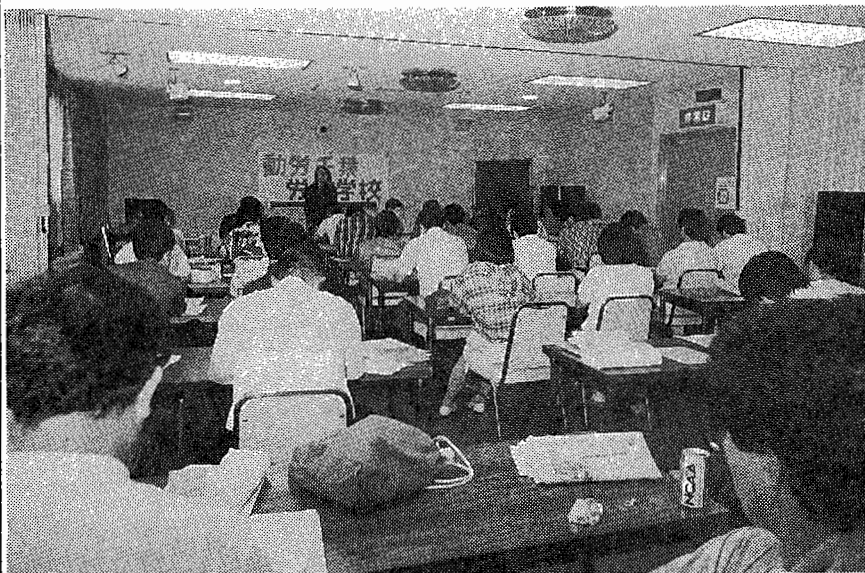
〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.8.7 No. 3441

二度と侵略の武器をとるな!

第3回労働学校開催



あらためて闘いへの決意を
うち固めた労働学校
―千葉市民会館にて―

「侵略」 パート1

50分の上映時間くぎづけ

あらためて日本軍の
侵略戦争犯罪に怒り

八月一日、第5期第3回労働学校が開催された。猛暑の中、四十名の組合員、家族会役員が参加し、ビデオ「侵略」と森正

孝氏(教育労働者で、「侵略」の監督)の講演に学び、決意も新たに夏から秋の反戦闘争に全力で立ちあがることを誓った。

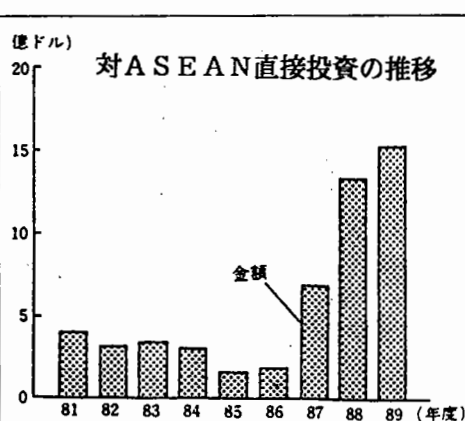
「侵略」は、森監督と製作者全員が心血を注ぎ、「二度と侵略の武器をとるな」という決意をこめて、時間と精力を注ぎこんで製作された力作である。五十分の上映時間中、参加者は咳

払いひとつせずに見入り、あらためて日本の戦争犯罪のすさまじさをつかみとり、再び戦争の道を許してはならない決意を固めた。

経済侵略(大国)から 軍事侵略にのりだした

講演で森氏は、自ら教育労働者として、現場でたたかっている実践的立場から、まず教科書検定(検閲)を怒りをこめて具体的に弾劾した。そのなかで特に、二十万人以上を日本軍が虐殺したと言われている南京大虐殺ひとつをとってみても、「事実を美化し、合理化するという許しがたい動きに入った」と指摘し、「過去の歴史事実をみさえ、今日の重大情勢を見抜く力を得なければならぬ」と強調した。

そのあと「資料」を示しながら、「戦後アジアで『築いた』経済権益確保のための侵略にのり出している。新たな大東亜共



さらに、「教科書検定官のなかには、ぬけぬけと『日中戦争は、事変の連続で戦争ではない』『戦宣告なき侵略は戦争ではない』と平然とひらきなっている。海部も国外では『謝罪』、国内では逆の態度をとるなど、つかいわけしている。こうした動きは新たな排外主義をあらわした役割をはたしている」と断罪した。最後に「求められる人民の普遍性 インターナショナルリズムにつながる歴史観をしっかりと持って、反戦闘争の一大高揚にむけて共にたたかおう」と訴えた。

PKOの具体的任務は、①平和維持軍、②停戦監視団、③選挙監視団の三つの活動に区分される。このうち、①②は、「武力紛争当事者の兵力引き離し」等を任務とするものであり、軍事活動そのもの。とくに、平和維持軍は、バズーカ砲や対空ミサイルまで携行する戦闘行動になる。また、この間のPKOのなかで733人が戦死している。まさにPKOは、「国連」の名前を被せた、世界支配のための戦争行為そのものだ。

大手証券会社四社、準大手・中堅十三社が公表した株取り引きをめぐる「損失補てん」は、総額一七二〇億円もの巨額にのぼるといふ。本来、損失も当然あるはずの株取り引きで、損失が発生すると証券会社がこれを「補てん」するという不正に、日本を代表する大企業がおきなみ額をつらねていたことは、経済的利益のためならなりふりかまわ

資本主義の腐敗の極致
証券入キヤンダルが発覚

ない資本主義の腐敗の極致を示している。労働者には労働強化を強制し、一方でこうした不正を平然と行い、あくなき利益を追求する「資本の論理」を認めることはできない。